（様式 3）

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

<table>
<tr><td>代 表 者 氏 名</td><td>近藤　恵</td><td>所 属</td><td>大阪医科大学</td></tr>
<tr><td>研究会等名称</td><td colspan="3">公益社団法人日本心理学会　死生心理学研究会</td></tr>
<tr><td>成 果 概 要</td><td colspan="3">１）参加人数（述べ人数）　37 名
日本心理学会会員　23 名（うち認定心理士　0 名）
日本心理学会非会員　14 名（うち認定心理士　0 名）

２）集会等の目的・成果等
【読書会】
１．<u>『「死」とは何か（完全翻訳版）』を読む</u>
（2020 年 8 月 22 日，Web 開催）
➢ 発表者：浦田　悠（大阪大学）：第 14 章「死に直面しながら生きる」
川島大輔（中京大学）：第 15 章「自殺」
➢ 参加者数：10 名（日本心理学会会員 8 名，日本心理学会非会員 2 名）

【研究交流会】
２．<u>第 1 回「デスカフェによる地域住民の死生観形成過程」</u>
（2021 年 2 月 22 日，Web 開催）
➢ 発表者：友居和美（大阪府立大学大学院）
➢ 参加者数：14 名（日本心理学会会員 9 名，日本心理学会非会員 5 名）

３．<u>第 2 回「死別経験のある大学生における喪失の意味づけと故人との関係性の変化－意味生成および故人との継続する絆に着目して－」</u>
（2021 年 3 月 8 日，Web 開催）
➢ 発表者：松島岬紀（中京大学大学院）
➢ 参加者数：13 名（日本心理学会会員 6 名，日本心理学会非会員 7 名）

【学会企画】
４．<u>日本発達心理学会第 32 回大会自主シンポジウム「障害のある人にとっての死・死別－死生の多様性を考える－」</u>（2021 年　3 月 31 日，Web 開催）
➢ 企画者：死生心理学研究会・渡邉照美（佛教大学）
➢ 話題提供者：張貞京（京都文教短期大学）・佐藤繭美（法政大学）・
➢ 杉山幸子（八戸学院大学短期大学）
➢ 指定討論者：田垣正晋（大阪府立大学大学院）
➢ 司会者：渡邉照美（佛教大学）

【成果・将来計画等】
研究会発足から 4 年目の今年度は，読書会 1 回と研究会 2 回，学会企画 1 回を Web で開催し，研究会の内外で活発な情報交換を行った。次年度も今年度同様，複数回の研究会や読書会の開催を計画中である。また学会におけるシンポジウムの開催も予定している。</td></tr>
</table>